

カリガネ

Anser erythropus (Linnaeus)

カモ目カモ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

全国的にも越冬地は限られており、中でも石川県は有数の越冬地であること。また水田の減少および乾田化で、生息環境が悪化している。

形態

全長58cm。日本のガン類では最も小さい。雌雄同色。全体的に灰褐色。嘴はオレンジ色またはピンク。額が白、腹には不規則な黒斑がある。マガンに酷似するが嘴が短く、目の周囲はリング状に黄色い。下尾筒は白い。足はオレンジ色。

国内分布

数の少ない冬鳥として、宮城県伊豆沼などマガンの越冬地でごく少数が観察されている。

県内分布

冬鳥として、片野鴨池に渡来するマガンの群れに混じって毎年2、3羽が観察されている。冬期は福井平野と行き来をしている。

生態

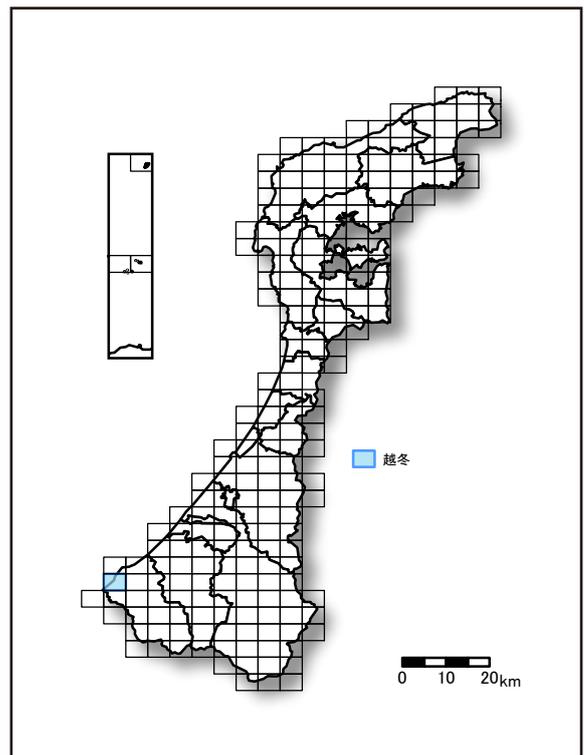
淡水湖沼または干潟とその後背地に採食地となる水田などの広い耕地を持つ地域に生息する。二番穂やイネ科の水田雑草などを食べる。警戒心が非常に強い。

生息地の条件

人がほとんど入らないような広い田圃や畑があり、落ち着いて寝られる畦（池や潟）があること。

生存の危機

水田の減少および乾田化により、生息地と餌が不足。ハンターによる間接的な影響も大きい。(A)



県内の分布